

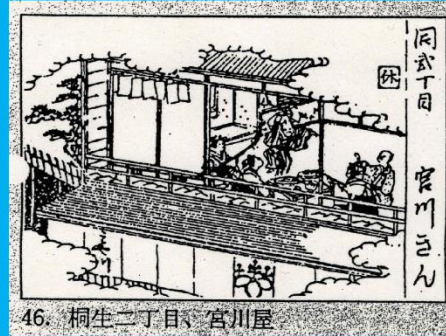
旧平田商店店舗

建築年:明治33年
(1900)
(国登録有形文化財)

旧 平田商店店舗(きゅう ひらたしょうてんぽ)

初代平田字八は長野県木曾郡藪原村の出身で、天保4年(1833)に来往したと伝えられています。嘉永4年(1851)に現在の地で雑貨商を営んでいました。

店舗と店蔵は明治31年(1898)の大火の後に建てられたといわれ、土蔵造の防火対策を施した構造となっています。店舗は平入りの町家で、土蔵造2階建、切妻造、棧瓦葺、表に下屋を設けています。店蔵も土蔵造2階建で小さい庇がつき、窓は店舗と同じデザインの両開き塗戸(白漆喰、内面は黒漆喰)です。また、店舗軒先の丸瓦に平田字八の「字」の字が印されているのもこの建物の特徴です。



46. 桐生二丁目、宮川屋

「根本山参詣ひとり案内」
(安政6年(1859)作成)より

「休所・宮川」は、旧小松屋の
ところにあったと言われている

